

25
エシヤ
聖徒伝 246

私自身の内なる 偶像からの解放を

エレミヤ書 25章 神の裁きの器・バビロニア

Shikaoichurch.com

39

アウトライン

- 0. イントロダクション
- I. 裁きの器・バビロニア 1～14
- II. 国々への裁き 15～29
- III. 主の日の裁き 30～37
- III. まとめと適用

私自身の内なる偶像からの解放を

聖書 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

イシュタル門

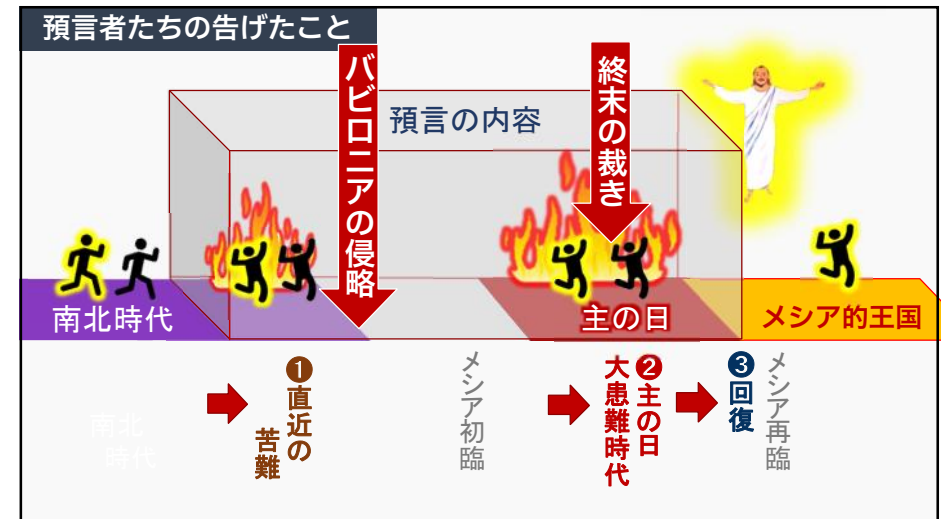
40

預言者たちの告げたこと

人の視点からだと、混沌として見えるが…



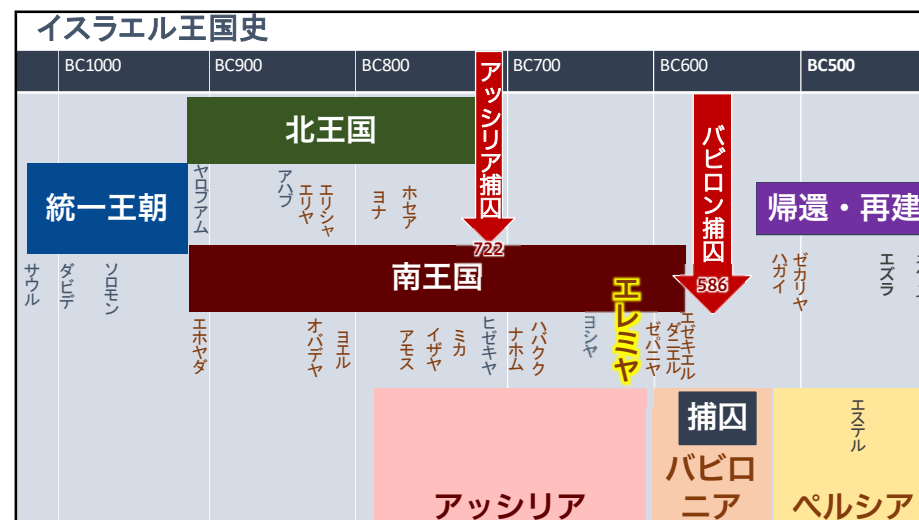
41



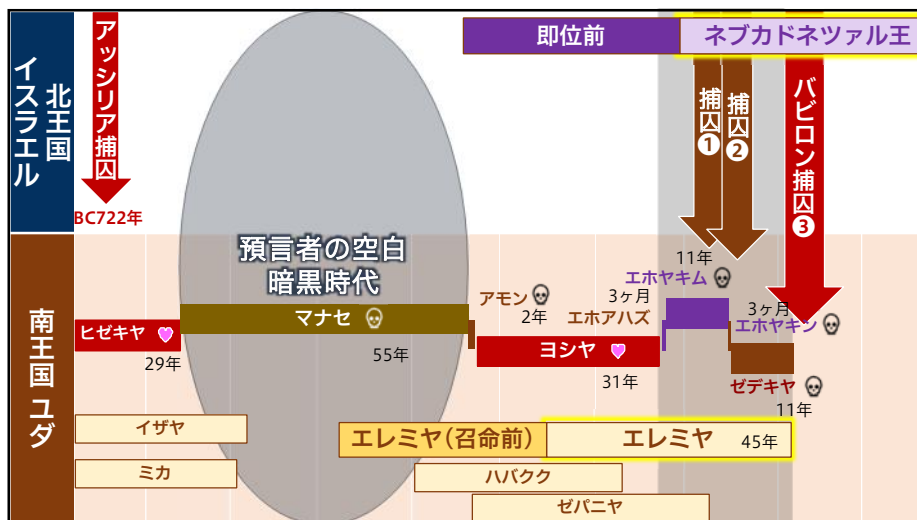
42



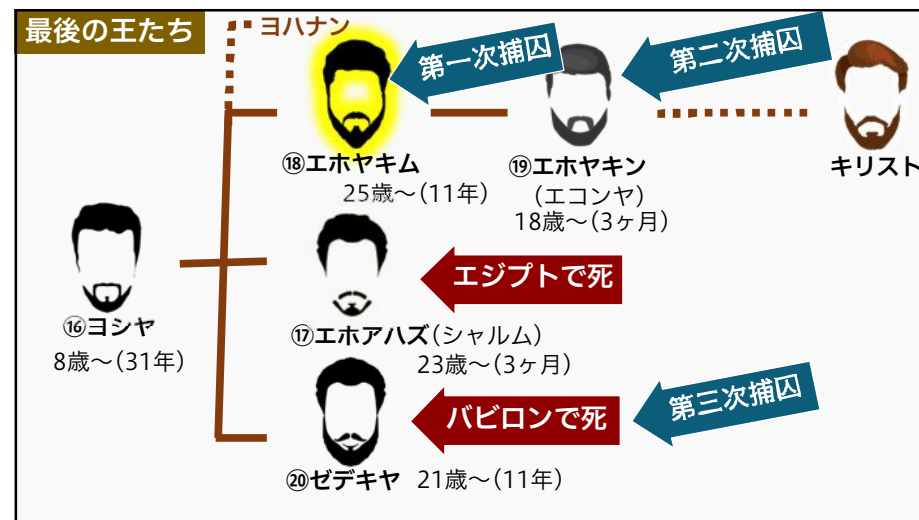
43



44



45



46

ネブカドネツアル王

■新バビロニア帝国の二代目の王。
バビロンを再建。壮大な都市に。



■BC605、37歳で即位 アッシリアを壊滅
イスラエル、シリアへ侵攻開始

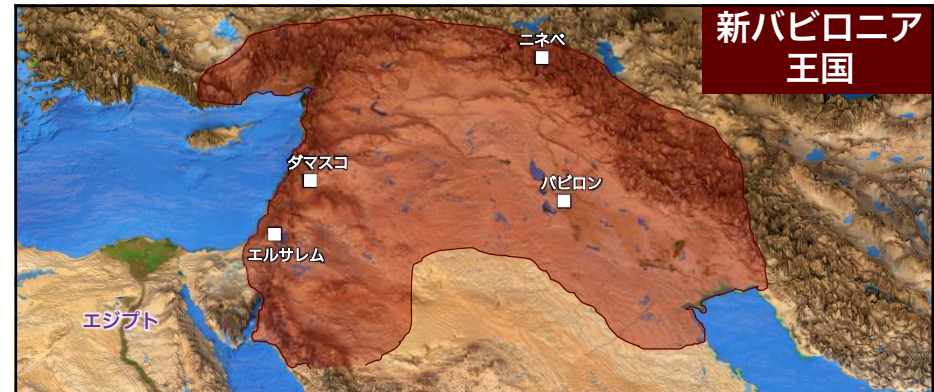
BC597 45歳 エルサレムを占領、ユダを属国化

BC586 55歳 エルサレム陥落 神殿を破壊

BC562、80歳で死去

47

新バビロニア王国



■ネブカドネツアル王は、アッシリアを滅ぼし、エジプトと激しく争い、退けて、シリア、イスラエル地方までを征服。

48



Ⅰ. 裁きの器・バビロニア エレミヤ書25章1～14節

イシュタル門(ベルリン)

49

御告げ 迫る侵略 エレ25:1

ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの第四年、
バビロンの王ネブカドネツアルの元年*に、ユ
ダの民全体についてエレミヤにあったみことば。

*BC605 アッシリアの残党は壊滅
イスラエルへの侵攻も開始

■バビロニアの脅威を眼前にしている御告げ



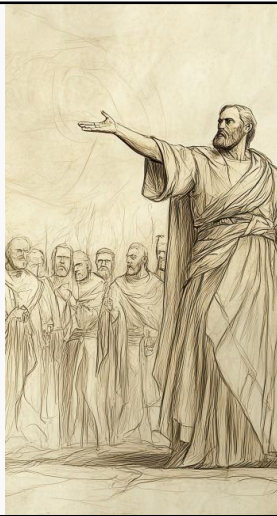
50

御告げ 民の頑なさ エレ25:2～3

預言者エレミヤは、それをユダの民全体とエルサレムの全住民に語り、こう言った。

「ユダの王、アモンの子ヨシヤの第十三年から今日まで、この二十三年間、私に【主】のことばがあり、私はあなたがたに絶えず、しきりに語りかけたのに、あなたがたは聞かなかった。

■律法回帰の宗教改革のヨシヤ王の時代すら、エレミヤの警告に耳を傾ける者はいなかった。

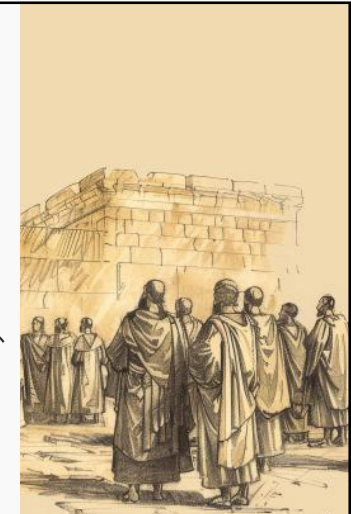


51

御告げ 預言者たち エレ25:4

また、【主】はあなたがたに、主のしもべである**預言者たち**を早くからたびたび遣わされたのに、あなたがたは聞かず、聞こうと耳を傾けもしなかった。

■エリヤ、エリシャ、ヨエル、オバデヤ、ヨナ、アモス、ホセア、ミカ、イザヤ…、
➡有名無名の数多くの**預言者たち**が、数百年も警告を発し続けたが…。



52

御告げ 悔い改めの促し エレ25:5～6

主は言われた。『さあ、それぞれ悪の道から、あなたがたの**悪い行い**から立ち返り、【主】があなたがたと先祖たちに与えた土地に、いつまでも、とこしえに住め。

ほかの**神々**に従い、それに仕え、それを拝んではならない。**あなたがたが手で造った物**によって、わたしの怒りを引き起こしてはならない。そのようにすれば、わたしも、あなたがたにわざわいを下さない。』

■イスラエルの最悪の罪が、**偶像礼拝**



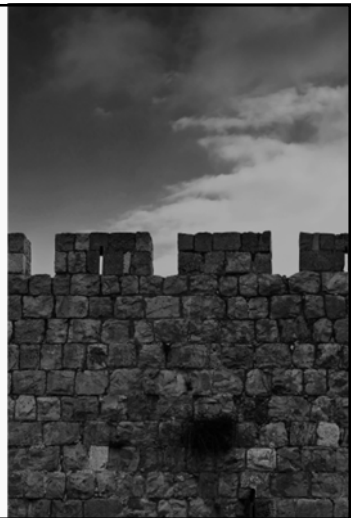
ユダの荒野

53

御告げ 自ら招いたわざわい エレ25:7

しかし、あなたがたはわたしに聞き従わなかった——【主】のことば——。そして、あなたがたは**手で造った物**でわたしの怒りを引き起こし、身にわざわいを招いた。』

■自らの**偶像礼拝**が招いたわざわいは、間もなくやってくる



54

御告げ 主の裁きの器 エレ25:8～9

それゆえ、万軍の【主】はこう言われる。
『あなたがたがわたしのことばに聞き従わなかったから、見よ、わたしは北のすべての種族を呼び寄せる——【主】のことば——。わたしのしもべ、バビロンの王ネブカドネツアルを呼び寄せて、この国とその住民、その周りのすべての国々を攻めさせ、これを聖絶して、恐怖のもと、嘲りの的、永遠の廃墟とする。』

■イスラエルを裁くために、
主が用いられる器が、北の帝国バビロニア。



55

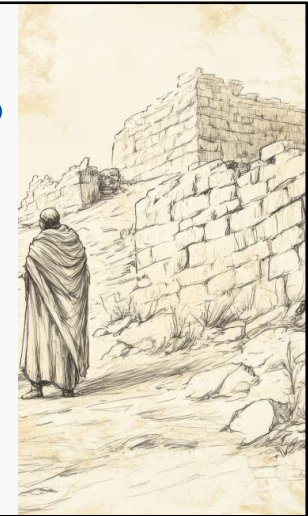
御告げ 70年の裁き エレ25:10～11

わたしは彼らから楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声、ひき臼の音と、ともしびの光を消し去る。

この地はすべて廃墟となり荒れ果てて、これらの国々はバビロンの王に七十年*仕える。

*人の一生に相当(詩90:10,イザヤ23:15)

■荒野の40年の裁きは、世代が変わる期間。
捕囚の70年の裁きは、人の一生に相当。



56

御告げ 捕囚の終わり エレ25:12

七十年の終わりに、わたしはバビロンの王とその民を——【主】のことば——またカルデア人の地を、彼らの咎のゆえに罰し、これを永遠に荒れ果てた地とする。

*ダニエルは、ペルシアがバビロンを滅亡後、
エレミヤの70年の預言を知った。(ダニ9:2)

■裁きの器バビロニアも、
自らの罪によって、主に厳しく裁かれる。



57

御告げ 全預言の主 エレ25:13～14

わたしは、この地の上にわたしが語ったすべてのことばを実現させる*。それは、エレミヤが万国について預言したことで、この書に記されているすべての事柄である。

多くの国々と大王たちは彼らを奴隷にして使い、わたしも彼らに、その行いに応じ、その手のわざに応じて報いる。』

*全ての預言は、主ご自身が完全に成就される。

■捕囚後も、イスラエルの苦難は続く。



58



Ⅱ. 国々への裁き エレミヤ書25章15～29節

イシュタル門・再現図

59

御告げ 神の怒りの杯 エレ25:15～16

まことにイスラエルの神、【主】は、私にこう言われた。「この**憤りのぶどう酒の杯***をわたしの手から取り、わたしがあなたを遣わすすべての国々に、これを飲ませよ。

彼らは飲んで、ふらつき、狂ったようになる。わたしが彼らの間に送る剣のゆえである。」

***罪人に下される神の裁き。神の怒りの杯**

「黙 14:10 その者(反キリストの刻印)は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた、**神の憤りのぶどう酒**を飲み、聖なる御使いたちと子羊の前で火と硫黄によって苦しめられる。」



60

御告げ エルサレムへの裁き エレ25:17～18

そこで、私は【主】の御手からその杯を受け取り、【主】が私を遣わされたすべての国々の民に飲ませた。

まず、エルサレムとユダの町々とその王たち、高官たちに。彼らを今日のように廃墟とし、恐怖のもと、嘲りとののしりの的とするためである。

■すべての国々の民への神の裁き

→筆頭は、神の民イスラエル
その都エルサレム

←**神の民への
恵みと責任**



61

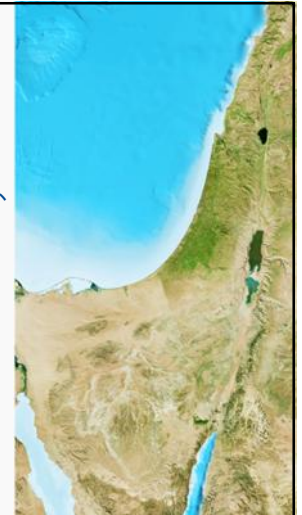
御告げ 裁かれる国々① エレ25:19～21

また、エジプトの王ファラオと、その家来たち、首長たち、そのすべての民、すべての混血の民、ウツの地のすべての王たち、ペリシテ人の地のすべての王たち、すなわちアシュケロン、ガザ、エクロン、アシュドデの残りの者たち、エドム、モアブ、アンモン人、

■ 列挙されるのは、

バビロニアに滅ぼされる国々。

→南のエジプトから、イスラエル周辺…



62

御告げ 裁かれる国々② エレ25:22～25

ツ口のすべての王たち、シドンのすべての王たち、海のかなたにある島の王たち、デダン、テマ、ブズ、もみ上げを刈り上げているすべての者たち、アラビアのすべての王たち、荒野に住む混血の民のすべての王たち、ジムリのすべての王たち、エラムのすべての王たち、メディアのすべての王たち、

→イスラエルの北、東、西の国々



63

御告げ バビロンの裁き エレ25:26

北国のすべての王たち、近い者も遠い者も一人ひとり、地の面のすべての王国である。そして、彼らの後で**バビロン**の王が飲む。

■これらの国々を滅ぼしたバビロンが、最後に、神の怒りの杯を飲む。



64

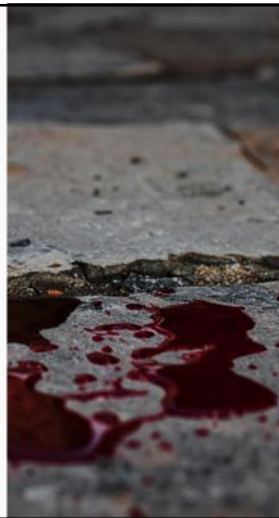
御告げ ユダへの宣告 エレ25:27～28

「あなたは**彼ら***に言え。『イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。わたしがあなたがたの間に送る剣のゆえに、飲め、酔え、吐け。倒れて起き上がるな。』

もし、**彼ら***が、あなたの手からその杯を取って飲むことを拒むなら、**彼ら***に言え。『万軍の【主】はこう言われる。あなたがたは必ず飲むことになる。』

*宣告の対象は、再びイスラエル(ユダ)へ

→避けられない裁きが来る



65

御告げ 都への裁き エレ25:29

見よ。**わたしの名がつけられているこの都***に対して、わたしはわざわいを下し始めているからだ。あなたがたは罰を免れようとするのか。免れることはできない。わたしがこの地の全住民の上に、剣を呼び寄せているからだ——万軍の【主】のことば。』

*エル・サレム = 神の平和

■最終的に、都は壊滅。神殿は完全破壊。

神の裁きは、イスラエルに始まり、イスラエルに終わる



66



Ⅲ. 主の日の裁き エレミヤ書25章30～37節

ユダの荒野・ネゲブ

67

御告げ 裁き主の叫び エレ25:30～31

あなたは彼らにこのすべてのことばを預言して言え。『【主】は高い所からほえ、聖なる御住まいから声をあげられる。その牧場に向かって猛々しくほえ、ぶどう踏みをする者のように、地の全住民に向かって叫び声をあげられる。

その叫び声は地の果てまでも響き渡る。

【主】が諸国の民と争い、すべての肉なる者をさばき、悪者どもを剣に渡されるからだ。——

【主】のことば——

■ここでの御告げは、世の終わりの主の裁き



68

御告げ 主の日の裁き エレ25:32～33

万軍の【主】はこう言われる。見よ。わざわざいが国から国へと移り行き、大いなる暴風が地の果てから起こる。

その日*、【主】に殺される者が地の果てから地の果てまでに*及び、彼らは悼み悲しまれることなく、集められることなく、葬られることもなく、地の面の肥やしとなる。』」

*主の日、世の終わりの神の裁き、大難難

*全世界に及ぶ裁き

…地の四隅の押さえが喪失(黙示録7:1)



69

御告げ 下される主の裁き エレ25:34

牧者たち*よ、泣き叫べ。群れの飼い主たち*よ、灰の中を転げ回れ*。あなたがたが屠られ、散らされる日が来たからだ。あなたがたは、尊い器が碎かれるように倒れる。

*国々の統治者、権力者たち

*灰を浴びるのは悔い改めのしるしだが…

➡回心も聞き届けられず、苦しむ状態



70

御告げ 消えた逃れ場 エレ25:35～36

逃げ場*は牧者たちのうちから消え失せる。逃れ場は、群れの飼い主たちのうちから。

牧者たちの叫ぶ声がある。群れの飼い主たちの泣き声がある。【主】が彼らの牧場を荒らしておられるからだ。

*律法は、逃れの町を指定していたが…

主の日の裁きに、逃れる場など存在しない



71

御告げ 荒廃 エレ25:37～38

平和な牧場も、【主】の燃える怒りによって荒れすたれる。

主は若獅子のように仮庵*を捨てた。虐げる者の怒り、主の燃える怒りによって、彼らの国が荒れ果てるからだ。

*祭りの仮庵とは別な語。

“(若獅子の)巢・住みか”…口語訳、新共同訳



72

**Ⅲ. まとめと適用**

私自身の内なる偶像からの解放を

バビロン・浮彫

裁きの器 バビロニア

■ イスラエルの偶像礼拝の罪を裁く主の器が、バビロニア

■ 諸国も、バビロニアを通して神の裁きを受ける

■ バビロニアも、最後に神の厳しい裁きを受ける

裁きの器として用いられる者には、重責がある

73

74

イスラエルへの使命

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。**あなたは祝福となりなさい。**創世記12:1～2」

- 住み慣れたウルの町を離れ、未知の土地へ旅立ったアブラハム
- **イスラエルの使命は、諸国への祝福となること。**
- ➡ 困難な地で、主に聞き従い、主を証しすることによって。

75

イスラエルへの責任

- 主に従い、主を証し、諸国への祝福となるべきが…、偶像礼拝に陥り、異邦人に躓きを与えた。
- 再三の警告にも関わらず、悔い改めにいたらなかった。
- 神の怒りの杯は、まずイスラエルに下り、諸国に下り、最後に再び、イスラエルに下る。

偶像礼拝の罪に対する裁きが、バビロン捕囚

76

イスラエルの究極の罪と裁き

- 約束されたメシアをイスラエルは拒絶
- ➡ 裁きの結果が、エルサレムの完全な破壊と離散
- 裁きのため、不信仰のまま帰還
- 世の終わりに、最終的な裁き・大難難時代が!!
- ➡ 大災厄と大迫害を経て、残された者が民族的回心へ

イスラエルへの究極的な裁きが、主の日・大難難時代

77

改めて偶像礼拝の本質を考える

- 偶像とは、人間の欲望の具現化。
- ➡ 究極の偶像礼拝は、自分を神とすること
- 好き嫌いが動機の者は、偶像礼拝者と大差なし。
- 自分の感情や好き嫌いで、信仰生活を判断してないか？
- ➡ 何を基準に地域教会や奉仕や宣教を判断してる？
- 自分の居心地、虚栄心が中心になってないか？

自分のお心が御心にすりかわるのは、偶像礼拝

78

引き返せない、信仰者の献身の道

- アブラハム以降、前進し続けてきた、主のご計画
- 主に従い、奴隷から解放、神の民となったイスラエルにエジプト(偶像礼拝)に戻る選択肢はない。
- バビロン捕囚、ローマによる陥落、ホロコースト…、幾多の苦難を経ても、イスラエルはイスラエルをやめられない!!

主を仰ぎ見、栄光のゴールへ向かって進んで行くだけ

79

遣わされた聖徒たち

- アブラハムはカナンへ。ヤコブはハランへ。
ヨセフはエジプトへ。イスラエルは荒野を経て再びカナンへ。
ダビデは荒野に逃れ、エリヤは異邦人の地と荒野へ。
エルサレムは、バビロンへ。エレミヤはエジプトへ。
- 主イエスは、ベツレヘム、エジプト、ガリラヤ、異邦人を地を巡り、エルサレムで受難に。
- 弟子たちは、エルサレムから、サマリア、小アジア、ギリシャ、そして世界中に遣わされて行った。

慣れ親しんだ地を離れ、遣わされていくのが、信仰者

80

主イエスに従う、ということ

■ ヨハネ福音書21:18～19

「まことに、まことに、あなたに言います。あなたは若いときには、自分で帯をして、自分の望むところを歩きました。しかし年をとると、あなたは両手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をして、**望まないところに連れて行きます。**」

イエスは、ペテロがどのような死に方で神の栄光を現すかを示すために、こう言われたのである。こう話してから、ペテロに言われた。**「わたしに従いなさい。」**

81

「行きなさい」という 主の命令

「ですから、あなたがたは**行って**、あらゆる国の人々を弟子とみなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。マタイ28:19～20」

- 小さく閉ざされた、感情と好き嫌いだけの自分の世界。
籠もってれば、偶像礼拝の罪に陥っていくだけ。

古い死んだ自分を捨て、新しい命を主の使命に生きよう

82

★ 私自身の内なる偶像からの解放を ★

- イスラエルの罪の最大の原因は、使命を見失ったこと。
諸国民への祝福を忘れ、閉じ籠もった末の偶像礼拝。
- 居心地のよさや好き嫌い、自分中心は偶像礼拝と同じ。
主に従うことを身をもって知る人は、幸いだ。
福音を信じた時、古い自分は死んだ。
だから、行って、主に与えられた新しい命を生きよう。

主イエスの使命で 自分自身を染め上げていこう

83

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし かみ みこ しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
ふる じぶん し あたら いのち い もの
古い自分は死んで、新しい命に生きる者とされました。
わたし い ふくいん の つた
私たちは、行って、福音を宣べ伝えます。
しゅ やくそく しんらい しゅ あた しめい つか
主の約束に信頼し、主に与えられた使命に遣わされます。
しゅ まね い とし しゅ したが つか
主に招き入れられるその時まで、主に従い、仕えます。マラナタ。
しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

84